

ダニ媒介性疾患の予防について

★ダニ媒介性疾患とは・・・

マダニ類やツツガムシ類に咬まれることによって、多くの感染症が媒介されることが知られています。次の疾患は、全国で発生が確認されているものです。

- 日本紅斑熱：病原体は日本紅斑熱リケッチア、媒介ダニはマダニ類です。症状は、高熱と斑丘疹などです。主として西日本でみられます。
- つつか虫病：病原体はつつか虫病リケッチア、媒介ダニはツツガムシ類です。症状は、発熱、発疹、リンパ節の腫脹などです。全国的（北海道等一部地域を除く）にみられます。
- 重症熱性血小板減少症候群：病原体はSFTSウイルス、媒介ダニはマダニ類です。症状は、発熱と消化器症状で、重症化し、死亡することもあります。

★「マダニ類」「ツツガムシ類」

マダニ類やツツガムシ類は、草むらや藪などに生息しているダニです。「ダニ」といっても、食品等に発生するコナダニや衣類や寝具に発生するヒョウヒダニなど、家屋内に生息するダニとは種類が異なります。

マダニ

(吸血前：3-4mm)



(吸血後：1 cm程度)



ツツガムシ

(0.3mm)



★ダニ媒介性疾患にかからないために

ダニに咬まれないことが重要です！

◆草むらや藪など、ダニの生息する場所で活動する場合◆

- ①長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、なるべく肌の露出をしないようにしましょう。
- ②服や靴の素材等は、白っぽい色で滑りやすい素材を選ぶと、ダニが付着しても発見し易く、またマダニも付着しにくくなります。
- ③首にかけるタオルや脱いだ上着などは直接地面に置いたり木にかけたりせず、出来るだけバッグの中などにしまうようにしましょう。

◆草むらや藪など、ダニの生息する場所で活動した後は◆

- ①服などにダニが付着している可能性があるため、車や自宅に入る前に服などはたきましょ。う。
- ②ダニに刺されてないか確認してください。

★もし、ダニに咬まれたら・・・

◆もし、ダニが吸血していたら◆

- ①放置すると数日間以上吸着して吸血し続けますので、みつけたら早めに取り除くことが肝心です。
- ②マダニを無理に引き抜こうとすると、マダニの一部が皮膚内に残ってしまうことがあるので、できるだけ病院（皮膚科）で処置を受けてください。
- ③咬まれてからしばらくして（数日～2週間程度）発熱・発疹などの症状が出た場合には、医療機関を受診し、ダニに咬まれたことを教えてください。日本紅斑熱やつつが虫病には、有効な治療薬があります。

◆もし、ダニに咬まれた後などに症状が出たら◆

ダニに咬まれても、痛みやかゆみはあまりなく、気づかないことが多いようです。もし、ダニが生息する場所で活動した後、数日たってから発熱等の症状が現れた場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

問い合わせ先

杵藤保健福祉事務所 感染症対策担当

電話 (0954) 22-2104